

日本国憲法第一章、「国民主権」であり、天皇は、日本国の象徴である、
そもそも天皇とは、何なのか、「正月と天皇の関係が話してあります」「正月とは単なる
「年初のことでない、日本最古の宗教行事であり、仏教伝来以前にすでに存在していた
といわれるものである、日本人は宗教心が薄いというが正月が近づくとほとんどの
家でしめ縄が飾られ、年が明ければ多くの人々が晴れ着で初詣でや初日の出を
拝祈に出かける、これはすべて神道の宗教行為である、神を自覚もしていないまま行って
全国の神社が一斉に人でごった返るのだからある意味、日本人はものすごい宗教心
に篤いといえるのかもしれない、「正月」とは「歳神様」をお迎えして祝う
行事である、元来、日本人はあらゆるものに靈魂があると信仰し、人間が死ぬと魂
は、別の世界に行き、一定期間が過ぎると個人の区別がなくなり、「祖霊」という大きな集団
いわゆる「先祖様」になる、この祖霊が春になると「田の神」に祈りが終わると「山の神」
になり子供の繁栄を見守ってくれる、そして正月には「歳神様」によって家にやって来ると年の
豊作と家族の健康を約束してくれる、そしてこの歳はほとんどすべての日本人に宿っ
ている宗教を司る最高の權威が天皇なのである。

そして幾千年の歴史を経て、今もその万世一系の子孫が国の祭祀を司る最高權威者
の地位にあり、国の安寧を祈り続けられている天皇とは世界にも類を見ない奇跡の傳
存存在なのである、第二次大戦中、米国内で日本の天皇を「エンペラー・ヒロヒト」と呼んで
いた、昭和天皇の別名は「裕仁」である、今の天皇の別名は「明仁」である

しかし天皇や皇子、皇女の肩を口にすることは少ない、位の高い人を身前で呼ぶことは、

失礼に当たります。天皇、皇后の敬称は「陛下」、それ以外の皇族の敬称は「殿下」、

天皇や皇族には戸籍がない、代わりに「皇統譜」という帳簿がある、

天皇は、「国民ではない」、即位拒否や退位の自由もない、職業選択の自由もない

婚姻も本人の意志だけでは決められ皇室会議を経なければならぬ。

参政権もない、健康保険、年金といった社会保障もない、さらに神道による祭祀を

行わなければならぬから事実上、信教の自由もない、制限だらけだ。日本には「天皇」、

「国民」がいるのだ、天皇は、「無私」であるからこそ国民に認められる自由や権利が認められ

ない、ここまで徹底した「公」の存在であるからこそ日本では有史以来「天皇」は「民」と

対立関係にならなかったことがない。「一君万民」と言い、天皇の下に万民が平等とされてきた

戦前も戦後も天皇の地位はさほど変わっていない、現行憲法でも天皇は「君主であり

日本は立憲君主国である。現在、「日本」という国が存在し、我が国が安穏として暮らしている

のは、あの時、どんな犠牲を払っても天皇を守ったからである。1898年、アメリカはスペインと戦争

を起す。当時スペインの植民地だったフィリピンは、独立させてやるという米国の甘言に乗ってスペイン

軍と戦った、だがスペイン降伏後、米国は、約束を破りフィリピンを植民地にする

フィリピン人は、抵抗して戦ったが、米国は、アーサー・マッカーサー（ダグラス・マッカーサーの父）

の指揮で住民を殺しまくって餓死させ、結局60万人を殺してしまった。

フィリピン人はもはや米国にだけは反抗できなくなりました。

~~11/23~~

N003

No.

Date

米軍がフィリピンを侵略した時の合言葉は、「唯一の良いフィリピン人は死んだ奴だ」

だった、これは「唯一の良いインディアンは、死んだインディアンだ」から受け継がれた言葉で

そして大東亜戦争が始まると米軍の言葉は、「唯一の良いジャップは死んだジャップだ」

この種の言葉がドイツに向けられる事は決まらなかった。そしてルズヴェルト大統領は「無条件降伏」

を公言、もし本当に無条件降伏した日本は奴隷化され、抵抗すれば、強制収容所に

送られ、拷問、虐殺されるかもしれない、天皇は、殺され、日本の聖地である伊勢神宮

に巨大な戦勝モニュメントが建てられ、決して手放さない三種の神器は、無残にも

「戦利品」としてアメリカの博物館で好奇の目にさらされ、公用語は、英語にされ、日本の

文化は奪われ、日本は消滅せざるを得ない、アメリカは実際にそういう事をしつ

て来たから、今の状況はあって当たり前のもではない、命を賭けて国体を護

ぐれた先人達には私は感謝している。

講評

いろいろと熱意を持って歴史を勉強されたようですね。興味深く読みました。歴史は奥が深く、いろいろな見方があるので、ぜひ、もっともっと勉強を続けてください。例えば、安丸良夫先生の『近代天皇像の形成』などは面白いですよ。図書館にもあると思います。(選者・星野)